あとがき　上に掲げた輻射點の推算位置は，1941年冬，筆者が東京府立六中天體觀測班回報誌上で論じた方法を，改良して行つたもので，元來，發表の意志等が無かつたのでありますが，山本先生から發表せよとのお言葉を頂きましたので，淺學も省りみず，仰せに從つた樣な次第であります．そんな譯で，山本先生には種々御面倒をお掛け致しました．又，山本先生，小槇先生からは有力な御高見を頂きました．末筆で御座いますが，謹んで御禮申し上げます．又同好の畏友富田弘一郎氏からは，筆者の有たなかつた資料の便宜を得，星野實君からは，計算法につき，御助言を頂きました．合はせて，感謝致します．

一生懸命書きましたものの，その道の Expert と目される方々が御覽になれば，氣が付かずに過した誤りや，考へ違ひも有り勝ちと存じます．そんな點は，何卒御教示下さいます樣お願ひ致します．(1943—7—5記)

海軍と天文

海軍少佐　塚本明一郎（講演筆記）

渺々たる洋上，または長距離爆擊行におけるわが艦，わが機の位置を絶えず正確に知るといふ事が，あらゆる作戰活動の基本となる．此の爲め太陽，月，星を觀測して，我が位置を確定しようとする天測員の苦心は，並大抵ではない．眞珠灣攻擊前，涯しない太平洋上にあつて“大作戰に狂ひを生じさせぬために，艦の位置を最も正確に測定せねばならぬ”といふので，自分も，こゝ二十數年間，修練してきた天測の腕を振つた．

天佑にも，夜明から上天氣であつた．晝間は，じく々々灼けつく甲板上で，太陽と向ひあつて，六分儀に嚙りつき，夜は星を觀測して，一睡もしなかつたが，諸員のこの努力によつて，廣漠たる太平洋上において，正確な艦位置をつきとめる事が出來，從つて，現位置から，目ざすハワイまでの距離，方向が確定したので，母艦を飛びたつた飛行機は，示された方向へ飛翔した時，まさしく眞珠灣を襲下に見たのである．

マレー沖海戰の戰果も，敵發見の位置が正確であつた爲であり，支那事變劈頭敢行された南京への渡洋爆擊でも，天測によつて飛行機の位置を正確に知り得た爲めである．洋上に於ける自己の位置の確定が，如何に大切であるかは，空母と飛行機の關係で最も明瞭に示されて居る．

尙ほ，敵の空爆の危險を冒して前進する潛水艦が，天測によつて，自己の位置を知る爲には，海上に姿を現はすほんの間隙に瞥見した星に依つて，確定しなければならぬと言ふ苦心が絶えず拂はれて居る，(在責筆記者)